

(様式1)

矢教第441号

令和2年1月10日

文部科学大臣 殿

栃木県矢板市長 齋藤 淳一郎

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

矢板市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

平成28年度～平成30年度（3年間）

（担当）

矢板市教育委員会教育総務課

住所：栃木県矢板市矢板106-2

電話：0287-43-6217

(様式2)

### 3. 事後評価の実施

#### (1) 実施時期

令和2年1月

#### (2) 評価の方法

- ・事業完了後、教育委員会事務局教育総務課内で下記により事後評価を実施した。
  - ①事業成果の定量的評価
  - ②施設利用者(生徒、教職員等)からの意見聴収
- ・併せて、次期施設整備計画への内容を検討した。

### 4. 総合的な所見

- ①定量的評価:洋式化率
    - 矢板中学校 7.5% → 82.4% (+74.9%)
    - (市内公立小中学校全体 24.2% → 35.9% (+11.7%)) ※H29.11時点
  - ②施設利用者(生徒、教職員等)からの意見聴収
    - 施設の環境向上により、良好な意見を得た
- 以上により、今回の施設整備計画の目標は概ね達成できたものと判断する。

### 5. 各目標の達成状況

#### (1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

矢板中学校におけるトイレ改修(便器の洋式化、床の乾式化等)を行った。

- ・洋式化率が向上し、衛生環境の向上が図れた
- ・施設利用者への意見聴取から見てきたもの  
洋式化したことにより、生徒等の生活習慣に合った施設整備が図れたこと  
床の乾式化をしたことにより、不快感・臭気の解消といった衛生面の向上が図れたこと

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
矢板中学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校		H29.2～H29.10	H29.11.13	財政的な理由により、次期施設整備計画に移行	
東小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校					